

## 令和5年度 第3回 亀玉小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年10月28日（土） 13時30分から15時40分まで
- 2 開催場所 亀玉小学校 会議室
- 3 出席委員 太田 富次郎、渡邊 剛一、伊藤 順子、平野 和江、森田 智佳、鈴木 歩、竹内 陽介
- 4 欠席委員 なし
- 5 オブザーバー 出席なし
- 6 学校支援コーディネーター 町田 和代
- 7 学 校 西川 正師（校長）、村田 昌士（教頭）、阿部 泰幸（教務・CS担当）、村瀬 美恵子（CSディレクター）  
佐々木 晴子、高津 陽子、小野 弘太郎、原田 愛莉、今井 忍、本間 由美子、橋本 麻衣、中野 典子、中村 耕介、飯田 侑里、西尾 美緒、杉本 望、山本 賢太、中村 寿美英、小山 鮎実、江間 徹、辻 若葉
- 8 浜松市教育委員会 堀田 洋一（教育総務課）
- 9 傍 聴 者 椛 通安（亀玉協働センター職員）
- 10 会議録作成者 村瀬 美恵子（CSディレクター）
- 11 議長選出

議長は、出席した委員の互選により選出し、会長が伊藤委員を指名した。  
全員、異議なくこれを承認した。

### 12 協議事項

- (1) 第1回学校評価（教務）
- (2) チェンジステージの取組について
- (3) 令和6年度 グランドデザインの作成に向けて

### 13 会議記録

司会の伊藤委員から、委員全員の出席があり、会議が成立している旨の報告があった。

#### ○挨拶

- ・ 太田会長からは、宮口で地域一丸の盛大な祭典が実施されたこと、学校150周年記念行事でのびのびとした子供たちの発表があったこと、コミュニティ・スクールとして地域と学校、家庭が目的を共有して未来に向けて子供たちを大切に育てていく活動が進んでいることについて挨拶があった。
- ・ 西川校長からは、学校で宮口の祭が終わった後も子供たちがかけ声を発生していたこと、学校150周年記念行事、あらっ子フェスタ、部会陸上記録会で子供たちが活躍したことについて挨拶があった。また、班旗、災害時備蓄品、諸会計負担金、PTA活動を行っていくうえでの個人情報と名簿の扱いについて、今後、考えていく必要があるとの話があった。

#### ○第2回会議録の確認

議長の指示により、会長が第2回会議録の議事内容を読み上げながら、委員全員で確認し、異議なく承認された。

#### (1) 第1回学校評価（教務）

議長の指示により、教務から、別紙資料に基づき学校評価について説明があった。  
委員からは、以下の発言があった。

### <学校評価の説明>

- ・ 現在、多数のボランティアが参加してくれていてありがたい。
- ・ 児童と保護者の意識変化（R2～R5）があった。  
学校が楽しい子 90% 保護者から見た進んで挨拶できる子 75% 優しい言葉遣い、自分の考えや思いを伝える、目標に向かって粘り強くチャレンジできる子は児童が約 90%、保護者は 70%。  
このことから、児童と保護者の意識の差 20%を狭める努力が必要。

### <委員の発言>

- ・ 児童と保護者の意識の差は、家庭内の会話の減少、児童のやる気の家庭での見えにくさからくるのではないか。このことから、家庭内の会話の増加と子供をよく見てもらうことについて働きかけていきたい。（渡邊委員）
- ・ 廊下の言葉の使い方の掲示は、赤ペンが入っていた。意味を正しく、気付いた時に教えてほしい。（森田委員）
- ・ 児童と保護者の意識の変化を見ると、学校はよくやっている。ボランティアの希望者の増加に協力する。（椋傍聴者）

### (2) チェンジステージの取組について

各子部長から報告があった。

#### <報告>

（やさしい子部）飯田リーダーから報告

目標「優しい言葉遣いができる」に向けて、フワフワチャレンジを実践した。廊下にえんタイムで言葉集めをして「良い言葉（言われて嬉しい言葉）通り」を作った。「良さを生かす」については学級目標を放送する。「あいさつ」については生活リズムと朝御飯についての実践を行う。

（かしこい子部）今井リーダーから報告

目標「自分の思いや考えを伝える事ができる」と家庭学習の工夫と充実に向けて、学年で内容を決めて実践する。さんタイムと学習展開の工夫、聞く力を身に付けることができるような支援を通して、漢字力や計算力の向上を図っていく。学び方の工夫とタブレットでの意見表出の機会を増やしていく。学校の学びが家庭に、社会に広がるように支援していく。（キャリア教育へ）

（たくましい子部）山本リーダーから報告

目標「目標に向かって粘り強くチャレンジできる」に向け、行事を通して子供の頑張る姿と子供同士の認め合いを図っていく。また、高学年の活躍を保護者に（差 25%）知ってもらえるようにもっと発信していく。更に、自分に合ったためあての設定・安全な生活に向けて活動を工夫していく。

#### <報告に対するご意見>

委員からは、以下の意見があった。

- ・ 先生方が取組を自信をもってやってくれていて嬉しい。各部の取組は学級の差があると思うが、チームの連携と方法をどのようにしているのか知りたい。（渡邊委員）
- ・ パワーが身に付き、力のある子が増加しているのは、実践のお陰。（平野委員）
- ・ 目標に向かって粘り強くチャレンジできる子について、家庭と保護者の意識の差は、学校ではがんばっているが、家庭では休んでしまうのではないか。担任からの学校での姿の発信を希望する。（森田委員）

このことを委員全員で確認し、異議なく承認された。

### (3) 令和6年度 グランドデザインの作成に向けて

①今、求められている姿について（教頭）

議長の指示により、教頭から、別紙資料に基づき、今、求められている姿について以下の説明があった。

厳しい挑戦の時代（予測困難な時代）を迎える。その時、子供たちにどのようなことが求められるのか。子供が自分の良さや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な社会の創り手となることができるようにすることが求められている。

この説明を受け、委員と教員がグループ協議を行った。

## ② グループ協議

テーマ「これからの社会を生き抜く子供たちと、今、求められる姿を育てるに当たって、亀玉にはどのような強みや弱みがあるのか？」

4つのグループに分かれて、SWOT分析をした。

Aグループ：太田会長、森田委員、高津、今井、中野、杉本、寿美英

Bグループ：渡辺委員、鈴木委員、佐々木、橋本、飯田、西尾、教務

Cグループ：伊藤委員、竹内委員、小野、本間、辻、小山、学校支援コーディネーター

Dグループ：平野委員、椋傍観者、愛莉、耕介、山本、江間、CSディレクター

## ③ グループ発表

Aグループ：杉本教諭の発表

- ・楽しい事は一生懸命がんばる子、人なつっこい子が多い。異学年で仲良く行動することができる。
- ・負けず嫌いな子が多い。中には言葉で威圧する子供もいる。
- ・先進的な取組をしている企業や農家がある。
- ・地域教材が多く、豊かな自然がある。学校教育が充実している。
- ・交通の便が悪い、学区が広い、帰宅後は友達と遊べないなどの弱みがある。

Bグループ：橋本教諭の発表

- ・地域ボランティア等の身近な人材が豊富である。歴史が深く、イベントの盛り上がり体験を通して大人から学ぶ子供たちが多い。
- ・地域の良さに気付く子供たちに育ててほしい。

Cグループ：小野教諭の発表

- ・誰とでも仲良くできる温かい人間性を持つ子供が多い。
- ・いろいろな課題を持つ子供がいるが、他者を尊重できる子供がいることで支え合っている。
- ・学校に積極的に協力してくださる方が多数いる。地域の人々の温かさがある。
- ・寺町。門前町。おらが町の子供をみんなで育てる意識がある。
- ・地域の協力を得る為には、学校は、月の行事予定を毎月20日までに出す必要がある。
- ・高校の中退者がいる。自分の変容に自信を持ち、人の為になる実感を伴う行動力をつけていく必要がある。

Dグループ：山本教諭の発表

- ・宮口、亀玉の地域をより深く調べると、子供の教育に活かせるので、教材研究をしていきたい。さらに、大平と堀谷の良さを知る子供を育てたい。
- ・教材と人材バンクがあると良い。新しいことにチャレンジしたい。

## ④ 感想

<委員から>

- ・寺、祭り、人は協力的。地域は親切で、面倒見がよい。子供たちはもう一歩踏み出せるとよい。(太田会長)

- ・子供時代、学校の勉強は教科書で学ぶ時代だった。今の時代は「どう生きていくのか」「将来どうしたいのか」「どう行動するのかを自分で考える」。グローバル時代（自由主義、自己主義）に生き残れる人間に育ててほしい。国のことや他人のことを、どう考えられるか。共同、協同、平等、平均的な平和を考えられる子供、自主的に行動できる子供に育ててほしい。（渡邊委員）
- ・他地域の子と、うまく生きていく子に期待。他地域の子供（学校）との交流（海の子、山の子との交流）をして、いろいろな子供を受け入れていける子に育ててほしい。（平野委員）
- ・先生方が子供の為に一生懸命やっていることが分かった。消極的な子供を、待つて受け止めたい。（森田委員）
- ・自然と人が豊か。積極性がない子には、家庭内で自信（自己肯定感）をつけてあげたい。（鈴木委員）
- ・褒めて、プラスの声かけをする。地域に（予定、子供のよさ）を発信する。（竹内委員）

＜校長から＞

- ・多くのご意見に感謝する。よさは、さらに伸ばしていく手立てを考えていく。特に、積極性（自分のよさ、可能性の認識）と自己肯定感を育てたい。  
また、自信が持てる子供を育てたい。特技発表会が終わると来年の会への参加希望の声があった。そして、他者を価値ある人と認識できる子供、豊かな心を育む子供を育てることが、長い目で見た時、必要だと考える。小学校でできることは何かを今後検討していく。

このことを委員全員で確認し、異議なく承認された。

#### 14 今後の取組について

学校支援コーディネーターから、ボランティア講座に40名の出席があり、多くの学びがあったとの報告があった。今後、学校内で開催することも考えたいとの提案があった。案内紙「あらっ子応援隊」で、学校ボランティアの募集をすることについて話があった。

#### 15 連絡事項

- (1) 教育総務課の堀田先生から、本校の取組を市内に紹介しているとの報告があった。本日の午前中の授業参観、午後の学校と地域の方向性の共有化、国の流れに基づくグループ研修を委員と教員全員で実施することは有意義であるとの話があった。
- (2) 教務から、次回の第4回学校運営協議会は、2024年2月16日（金）にまとめの会をこの会議室で開催する旨の報告があった。詳細は、後日、さくら連絡網で、案内する。
- (3) 教頭から委員に、熟議チェックシートについてのお願いがあり、この場で記入をして提出された。
- (4) 教頭から、島根県で12月15日開催予定のコミュニティ・スクール研究大会について紹介があった。
- (5) 来賓構成員（修正案）について提案があった。宮口連合自治会長にご意見をいただく機会を設けて検討をする。
- (6) 本日のこの会で撮影させていただいた写真の活用について了承を得た。